

## ビューワーソフトをインストールする

弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp/>) よりビューワーソフトをダウンロードし、ホームページの手順に従いインストールします。

○対応 OS : Windows7/Vista/XP



iSafeView2.exe  
アプリケーション  
iSafeView2

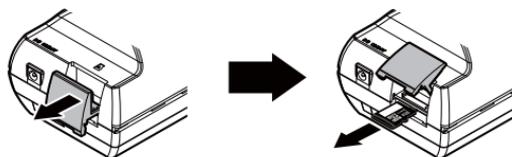
### アドバイス

パソコンの OS が Windows XP の場合、【Microsoft .NET Framework 3.5】および【Microsoft .NET Framework 3.5 日本語 Language Pack】が必要になります。その場合、マイクロソフト社のダウンロードセンターからダウンロードし、インストールを行なってください。

## 映像を再生する

1) microSDHC カードカバーを開け、microSDHC カードを取出します。

- ・ microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



2) カードリーダー等を使用し、パソコンへ挿入します。

- ※ microSDHC カードに対応していないカードリーダーの場合、パソコンがカードを認識できません。



### アドバイス

- ・ microSDHC カードを取出す際はエアコン吹出し口等に落とさないように気を付けてください。
- ・ microSDHC カード内のデータを直接加工（切り取りや貼り付けなど）しないでください。データを正常に読み取れなくなる恐れがあります。

# 映像を見る

3) インストールしたビューワーソフトを起動します。



①	スイッチ操作により保存されたイベントデータの一覧を表示	⑦	『SD 名称』(⇒ P32) に入力した内容を表示
②	衝撃により保存されたイベントデータの一覧を表示	⑧	保存されている録画データのサムネイルを表示
③	速度超過により保存されたイベントデータの一覧を表示	⑨	録画データの撮影日時を表示
④	オールデータの一覧を表示	⑩	録画データの最大『G』を表示 ※オールデータでは表示されません
⑤	本体の設定画面を表示	⑪	録画データの最高速度を表示 ※オールデータでは表示されません
⑥	パソコンに保存した録画データを読み込む	⑫	運行データを CSV 形式で出力する ※最新の 1000 件を保存する

## 👆 アドバイス

### 録画データソート機能

録画データの⑧『撮影日時』または⑨『最大 G』をクリックすることで、撮影日時順や最大 G 値順に並べ替えることができます。

### パソコンに保存したデータを読み込む

⑤『SD ⇄ PC』をクリックすることで、パソコンに保存されたデータを選択し、確認することができます。

パソコンに保存する際は microSD カード内のデータすべてを任意のフォルダーへ保存してください。

### CSV ファイルで確認できる保存情報

本製品のビューワーソフトで出力されるデータは下記の 2 種類になります。

#### 《運行データ》

保存情報	記録内容
電源をオンにした時間	年月日 時分秒
電源をオフにした時間	年月日 時分秒
電源オンからオフまでの走行距離※	0 ~ 9999.9km
電源オンからオフまでのアイドリング時間※	00:00:00 ~ 99:59:59
電源オンからオフの間に発生した速度超過時間※	00:00:00 ~ 99:59:59
電源オンからオフの間に発生した速度超過回数※	000 ~ 999 回
電源オンからオフの間に発生した安全運転報知回数	000 ~ 999 回
電源オンからオフの間に発生した衝撃トリガの回数	000 ~ 999 回
電源オンからオフの間に発生したスイッチトリガの回数	000 ~ 999 回

※ DROP-007『車両情報ユニット』接続時は車速パルスにより算出した速度を利用しています。

#### 《イベントデータ》

保存情報	記録内容	備考
発生時刻	年月日時分秒	表示例) 2012/08/01 10:00:00
発生場所	緯度 ***.*****°	表示例) 035.108739°
	経度 ***.*****°	表示例) 137.100304°
発生時 加速度	前後 -9.99 ~ +9.99G	後ろ (加速側) を正とする
	左右 -9.99 ~ +9.99G	右側を正とする
	上下 -9.99 ~ +9.99G	上側を正とする
	合成 0 ~ +9.99G	表示例) 0.06
発生時速度	000 ~ 999km/h	表示例) 80km/h

# 映像を見る

4) 確認したい映像をクリックすると再生画面に切替わり、再生が始まります。



## アドバイス

- ・ Google マップはインターネット接続時のみ表示されます。
- ・ ビューワーソフトで変換される動画データをパソコンで再生する場合、QuickTimeなどで再生することができます。
- ・ 速度表示が実際の速度と大きく異なる場合は、ビューワーソフトの設定画面より車速パルスの設定を行なってください。(⇒ P32)
- ・ ブレーキおよび左右のウインカーの作動状態が表示されない場合は、車両への接続を確認してください。(⇒ P13)

※オプション DROP-007「車両情報ユニット」接続時のみ

①	メイン画面表示。初期状態では車外側のカメラの映像を表示	⑬	現在のチャプターの再生時間 / 総時間を表示 ※上書きされたデータがある場合、文字色がオレンジに変わります。
②	加速度グラフを表示	⑭	現在のトラックの再生位置を表示
③	各項目をクリックすることでグラフ表示をON/OFFする 【X】..... X 軸（前後）の ON/OFF 【Y】..... Y 軸（左右）の ON/OFF 【Z】..... Z 軸（上下）の ON/OFF 【C】..... C 軸（合成値）の ON/OFF	⑮	各種検知アイコンを表示 【G】..... トリガ（衝撃）を検出した場所 【S】..... トリガ（手動スイッチ）を検出した場所 【T】..... 長時間運転を検出した場所 【★】..... 安全運転を検出した場所 【▲】..... 急加速を検出した場所 【▼】..... 急減速を検出した場所 【#】..... 速度超過運転を検出した場所
④	録画データの先頭に戻る	⑯	メイン画面とサブ画面の表示場所を切替える
⑤	前のトラックに戻る	⑰	加速度 / 撮影モード / GPS の受信・未受信 / 音声の有無を表示 ※データ読み込み中は黄色文字で表示
⑥	再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる	⑱	サブ画面表示。初期状態では車内側のカメラの映像を表示
⑦	コマ送りする※再生中のみ	⑲	インターネット接続時、Google マップを表示 ※ GPS 受信時のみ自車位置を表示
⑧	早送りする※再生中のみ	⑳	ウインカーの動作を表示 ※オプション DROP-007「車両情報ユニット」接続時のみ
⑨	次のトラックに進む	㉑	速度表示
⑩	録画データの一覧画面に戻る	㉒	ブレーキの ON/OFF を表示 ※オプション DROP-007「車両情報ユニット」接続時のみ
⑪	メイン画面に表示された映像の静止画 (jpeg) を 1 枚のみ保存する ※一時停止中のみ表示	㉓	再生データのトラックの数 / 録画日時を表示 ※データ読み込み中は黄色文字で表示
⑫	現在再生している映像を動画データ (avi) に変換し保存する ※一時停止中のみ表示		

# 設定

## 設定を変更する

ビューワーソフトの『本体設定』より、設定を変更することができます。

### 👉 アドバイス

設定を行なった microSDHC カードを本体に挿入し、電源を入れる事によって本体に設定が反映されます。

### ⚠ 注意

『車両情報ユニット』を接続しない場合は車速パルスの設定をオートまたは GPS に設定してください。GPS 情報による車速表示が行われなくなります。

本体設定

閉じる

スイッチイベント	On	Off	オイル交換	OFF	
衝撃イベント	On	Off	走行距離	1847.14 Km	クリア
速度超過	On	Off	12ヶ月点検	OFF	
常時録画	On	Off	安全運転	OFF	
検出加速度	0.5 G		GPSアナウンス	On	Off
撮影モード	2カメラ 10*10fps		車速アラーム	OFF	
音声録音	On	Off	ECOモード	On	Off
音量	5		SD名称( / / * ? < > は使用禁止 )		
車速パルス	オート		〇〇-〇〇		
故障LED	On	Off			

パスワード

録画データ消去

工場出荷時に戻す

## 設定一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
スイッチイベント	ON/OFF	ON	
衝撃イベント	ON/OFF	ON	
速度超過	ON/OFF	OFF	
常時録画	ON/OFF	ON	
検出加速度	0.1 ~ 1.0G	0.4G	敏感 (0.1G) ~鈍感 (1.0G)
撮影モード (⇒ P34)	2 カメ … 10+10fps / 5+5fps 1 カメ … 20fps / 10fps / 5fps	2 カメ 10+10fps	
音声録音	ON/OFF	ON	
音量	OFF/1 ~ 10	5	
車速パルス	GPS/2/4/6/8/16/20/25/ オート	オート	
威嚇 LED (⇒ P34)	ON/OFF	OFF	
オイル交換	OFF/1000km ~ 9000km	OFF	500km 単位で 設定可能
走行距離	ON/OFF	OFF	
12 ヶ月点検	OFF/1 月 ~ 12 月	OFF	1 ヶ月単位で設 定可能
安全運転	OFF/ アラーム / 音声	OFF	
GPS アナウンス	ON/OFF	OFF	
車速アラーム	OFF/10km/h ~ 90km/h	OFF	10km/h 単位で 設定可能
ECO モード	ON/OFF	OFF	
SD 名称	入力した内容がビューワースソフト左上 (⇒ P28) に表示されます。車種やナンバー等を入力し、microSD カードの管理にご使用ください。		

 アドバイス

- ・別売の車両情報ユニットを接続時に【車速パルス】の設定を[オート]に設定している場合、項目上へマウスカーソルを移動させると現在のパルス数が表示されます。
- ・【威嚇 LED】の項目上へマウスカーソルを移動させると本体の内蔵バッテリー充電状態が表示されます。

# 設定

## 撮影モードを変更する

撮影モードを変更することで、1 カメ / 2 カメ、フレームレートを変更することができます。

また撮影モードを変更することにより本体に記録できる時間も変わります。

※ 下表の記録時間は、付属の microSDHC カード (4GB) を使用した場合の目安としてください。記録時間は録画する風景や明暗によって変動します。状況によっては記載内容の半分以下になることもあります。

### 《設定内容》

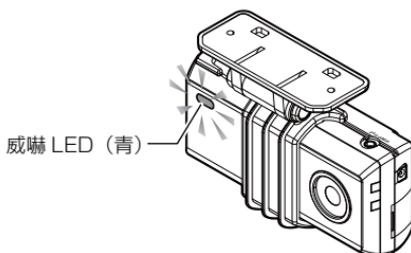
カメラ数	フレームレート	記録時間
1 カメラ	5fps	約 12 時間
	10fps	約 6 時間
	20fps	約 3 時間
2 カメラ	5+5fps	約 6 時間
	10+10fps	約 3 時間

※ フレームレートとは 1 秒あたりの記録枚数を表わしており、fps (Frames Per Second) という単位で表します。数値が大きいほど映像が滑らかに再生されます。

## 威嚇 LED を点滅させる

本製品は本体カメラ側に威嚇 LED (青) を搭載しています。『威嚇 LED』の設定を ON にすることでキー OFF 後、一定期間点滅します。

※ 点滅する期間は内蔵バッテリーの充電状態によって異なります。



### 👉 アドバイス

威嚇 LED は内蔵バッテリーを使用するため 1 週間に 2 時間以上走行する (充電する) ことをお勧めします。

※ 充電状況により威嚇 LED が消灯することがあります。

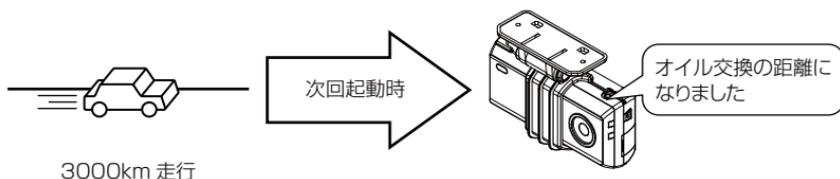
## 車両メンテナンス機能

設定した月・走行距離になったあと、次回起動時にアナウンスを行います。

### オイル交換のお知らせ

設定画面で『1000km～9000km（500km単位）』から選択し設定すると、設定した距離を走行後、次回起動時にオイル交換を促すアナウンスを行います。

例) 3000km に設定した場合



#### 👉 アドバイス

オイル交換終了後、設定画面で『走行距離リセット』を行うことで、再度設定した距離を走行後オイル交換のアナウンスを行います。

### 12ヶ月点検のお知らせ

設定画面で『1月～12月』から選択し設定することで、設定した月になると車両点検を促すアナウンスを行います。

「車両点検の時期になりました。」

# 設定

## 安全運転報知機能

急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出すると音声またはアラーム音でお知らせする機能です。エコ運転の目安にしてください。また、長時間運転報知機能も連動して ON になります。

### アナウンス内容

運転状況によって音声がか替わります。

安全運転報知レベル	アラーム音、音声内容
レベル 1	効果音 安全運転を心がけましょう
レベル 2	効果音 安全運転を心がけてください
レベル 3	効果音 運転に注意してください。

※ 設定をアラームにした場合、効果音のみ鳴ります。

### アドバイス

- ・衝撃検出レベルの設定に応じて報知レベルが変化します。
- ・ブザーが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時は、安全運転報知機能は作動しません。

## 長時間運転報知機能

連続で 2 時間運転を行なった時に下記アナウンスを行います。

※ 安全運転報知機能を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。

**「運転時間が 2 時間になりました。」**

## GPS セーフティアナウンス機能

事故多発ポイントや速度監視路線等、事故の多い地点を通過する前に注意を促すアナウンスを行います。

※ ポイントの追加および更新を行う事はできません。

### 事故多発ポイント

事故多発ポイントとして登録されている地点の約 300m 手前で 1 回下記アナウンスを行います。

「この先事故多発ポイントです。」

### 速度監視路線

速度監視路線として登録されている地点の約 1km 手前で 1 回下記アナウンスを行います。

「この先速度監視路線です。」

## 車速アラーム機能

設定画面で『10 ~ 120km/h』から選択し設定することで、設定した速度を超えた場合に下記アナウンスを行います。

またアナウンス後 1 分間は再アナウンスを行いません。

「スピードの出し過ぎに注意しましょう。」

# 設定

## エコモード

エコモードを設定することで、エコ運転を支援するアナウンスを行います。

項目	アナウンス内容
加速評価（ふんわりアクセル）	ふんわりアクセルです。
加減速評価	緩やかな加速を心がけましょう。
	緩やかな減速を心がけましょう。
一定速度での運転評価	エコ運転です。
アイドリング検出機能	長時間のアイドリングは控えましょう。
タイヤの空気圧チェック	タイヤの空気圧を点検しましょう。
エアコンの適正温度	エアコンは適切な温度に設定しましょう。

### 加速評価（ふんわりアクセル）

ゆっくりスタートした時に上記アナウンスを行います。

### 加減速評価

急な加減速を検出した時に上記アナウンスを行います。

### 一定速度での運転評価

30～60km/hにおいて一定速度での走行を続けると上記アナウンスを行います。

## アイドリング検出機能

速度が 0km/h の状態が 5 分間連続した場合に左記アナウンスを行います。無駄なアイドリングを無くすことで、燃費の向上や CO<sub>2</sub> の削減に役立ちます。

※ アナウンスを行うまでの時間を変更することはできません。

### 👉 アドバイス

アイドリング検出機能を使用する場合、付属電源コードの ACC 線を車両 IG 線に接続する事をお勧めします。

※車両 ACC 線に接続した場合、ACC ON の状態（エンジン OFF）でもアナウンスを行います。

## タイヤの空気圧チェック

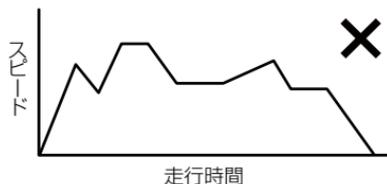
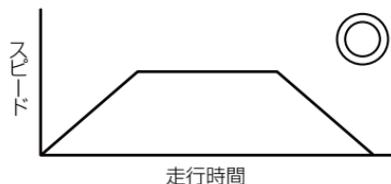
月が変わって最初の起動時に 1 回、左記アナウンスを行います。

## エアコンの適正温度

7/1 ~ 8/31 の 10:00 ~ 15:59 に起動したときに 1 日に 1 回のみ左記アナウンスを行います。また他のエコモードのアナウンスと重なった場合はアナウンスを行いません。

## エコ運転を行う際の注意点

1. 丁寧なアクセルワークを心がけましょう。  
※最初の 5 秒で 20km/h 程度になるのが目安です。
2. 車間距離に余裕を持ち、急加速・急減速を行わず速度変化の少ない運転をしましょう。
3. 早めにアクセルを OFF にし、エンジンブレーキを有効に使いましょう。
4. 気象条件に応じたエアコン操作をしましょう。
5. 無用なアイドリングはやめましょう。
6. タイヤの空気圧は定期的にチェックしましょう。
7. 無駄な荷物を車に積むのはやめましょう。



# 設定

## パスワードを設定する

パスワードを設定することで、プライバシーの保護や他人に録画データを見られないようにセキュリティを強化することができます。

### △ 注意

設定後、パスワードを忘れると解除することもできません。ご注意ください。

## 設定方法

- 1) 『本体設定』内の『パスワード』を選択します。



- 2) 4桁の数字を入力し、『OK』を押します。



- 3) 次回ビューワソフト起動時より、正確なパスワードを入力しないと再生することができません。

## 👉 アドバイス

- ・ 誤ったパスワードを入力した場合は、再度入力を行なってください。
- ・ パスワードを設定した場合は、パスワードを忘れないように管理してください。
- ・ パスワードを忘れてしまった場合、microSDHCカードのフォーマットをパソコンで行う事で使用することができます。ただし録画データも消去されてしまいます。

### パスワード設定を解除する場合

パスワード設定画面で『パスワード解除』を選択してください。

## 録画データを消去する

設定内容を残した状態で、録画データのみを消去することができます。

### 消去方法

- 1) 『本体設定』内の『録画データ消去』を選択します。



- 2) 確認画面が表示されるので消去しても良ければ、『はい』を選択します。



- 3) microSDHC カードを本体に挿入し電源を入れると、録画データの消去が開始されます。

### アドバイス

- ・設定を行なった microSDHC カードを本体に挿入し、電源を入れる事によって本体に設定が反映されます。
- ・記録した映像を 1 件単位で削除することはできません。

# 設定

## 工場出荷時に戻す

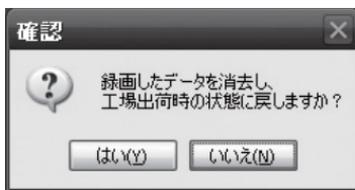
工場出荷時に戻すことで、設定と記録した録画データを消去します。

### 工場出荷時への戻し方

- 1) 『本体設定』内の『工場出荷時に戻す』を選択します。



- 2) 確認画面が表示されるので工場出荷時の状態に戻しても良ければ、『はい』を選択します。



- 3) microSDHC カードを本体に挿入し電源を入れると、設定内容と**記録した録画データおよびパスワードの消去**が開始され、工場出荷時の状態に戻ります。

### 👉 アドバイス

- ・設定を行なった microSDHC カードを本体に挿入し、電源を入れる事によって本体に設定が反映されます。
- ・記録した映像を 1 件単位で削除することはできません。
- ・設定を変更する場合は、再度ビューワーソフトから設定の変更を行なってください。